

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

守口市立八雲中学校

## 【取組内容①】クラウドをフル活用した生徒が主体の授業づくり

### ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～

#### クラウド型授業とは？

表計算ソフトやプレゼンソフトなどのデータを共同編集するなど、汎用のクラウド活用を前提とした授業。ファイルやフォルダそのものを共有するのではなく、**クラウド上にあるファイルの置き場所であるURLを共有する。その際、チャット等を活用してURLをやり取りすることがとても重要になる。**



GIGAの本質はクラウド活用

#### クラウド型授業のメリット

- ①共同編集  
1つの成果物を協力して作ることができる。
- ②相互参照  
他者の成果物をリアルタイムで（途中段階でも）確認できる。
- ③相互評価  
互いの成果物にコメントやアドバイスをすることができる。



#### 事例1 主人公の生き様に対して自分の考えをまとめよう（中1国語）

- Excelの共同編集を活用することで、1人では気づかなかった新たな価値観に出会い、共有できた。
- PowerPointの共同編集を活用することで、他者の多様な表現を参考にしたり、まとめ方を比較したりすることで、学びが広がり、深まった。

事例の詳細はこちら →



#### 事例2 信長はなぜ天下統一に近づけたのだろう（中2社会）

- 家庭学習として事前に動画を視聴させ、事前課題（Formsを活用したテスト）に取り組みさせることで、従来授業内で取り扱っていた基礎的な知識を事前に学習できた。
- PowerPointの共同編集機能を活用することで、常時他者の考え等を参照することが可能となり、自己の学びに生かせ、学びを広げたり深めたりできる。

事例の詳細はこちら →



#### 取組みを通しての子どもの変容

クラウド型授業を取り入れることで、他者の学びを自己の学びにつなげていくことが容易になった。他者参照が容易にできることで、学習に課題がある生徒もスムーズに授業に参加できるようになった。また、相互評価が容易にできることで、お互い認め合うことができ、生徒同士のつながりが深まった。

#### クラウド型授業を受けた生徒の感想

- ・他者の意見やまとめ方が参考になり、自分の学び方が変わった。
- ・自分の成果物にいいね！やコメントをもらうことができモチベーションが上がった。